

(公表様式1)

## 福祉サービス第三者評価結果表

### ① 第三者評価機関

名 称	福島県社会福祉協議会
評価実施日	平成25年12月19日
評価調査者番号	①2201
	②1909

### ② 事業者

名称 (法人名)	社会福祉法人いわき福音協会 はまなす荘	種 別	指定障害者支援施設
代表者氏名	所長 新妻 登	定 員 (利用者数)	50人 ( 51人)
所在地	福島県いわき市平中平窪字二堂田2番地		
連絡先	電話番号：(0246) 23-8711 FAX番号：(0246) 23-8712 ホームページアドレス：http://hamanasu.i-fukuin.com		

### ③ 総 評

<p>◇ 特に評価の高い点 ◇</p> <p>【利用者と意欲的にかかわる職員の姿勢】</p> <p>施設には、意思疎通が図りにくい利用者も多く、意向の把握が難しい中で職員が、利用者に意欲的にかかわるために、より円滑なコミュニケーションを図る手段として、職員は工夫やアイデアを出し合い、筆談・イラスト等を活用して、利用者の意向把握に尽力している。さらに自治会活動時などにおいて利用者同士の会話や相互の関わりから利用者の気持ちを把握し、また意向を受け止めるなど、利用者自身のその人らしい生活の実現に向けて努力する姿勢が高く評価される。</p> <p>【地域とのつながり】</p> <p>いわき地区障がい者福祉連絡協議会やいわき市障がい者職親会、地区の民生委員協議会等様々な会合に出席して情報交換を行いながら地域の福祉ニーズ・課題を把握し、解決に向けた地域貢献の取り組みを行っている。</p> <p>地域の行事には準備から関わるとともに、施設行事にも地域住民の参加を呼びかけるなどして利用者との交流を大切にしている。</p> <p>これらの取り組みを通じて、施設利用者も社会の一員であることの自覚を促し、また地域住民にも認識していただくよう努力している。</p>
--

◇ 改善を要する点 ◇

【サービス実施計画策定及び記録の強化】

アセスメント及び個別のケース検討を行っているが、その内容がサービス実施計画に十分に反映されていない。サービス実施計画の策定にあたっては、利用者へ直接かかわる頻度の高い職員だけでなく、総合的な視点から様々な職種による関係職員、利用者や家族も参加して、協議・検討してほしい。

また、サービス実施計画を策定するためには、サービス実施状況の具体的な記録が重要であり、職員間で情報共有し、施設として統一したサービスを実施するためにも、記録内容や書き方に差異がないよう、記録作成要領を定めて職員に周知しておく取り組みが望まれる。

【各種マニュアルの整備及び定期的な評価・見直し】

各種マニュアルは様々な種類のサービス提供施設を持つ法人全体で作成したものを活用しているため、施設の利用者の現状に合致しない部分も見受けられる。今後は、利用者が重度化、高齢化した施設の特徴等も踏まえ、全ての職員が参画し、施設の実情に合ったマニュアルの評価・見直しに取り組むことが望まれる。

また、緊急時対応マニュアルは整備されているが、東日本大震災等の災害体験に基づいた安全確保や地域における福祉避難所ともなりうる施設の役割の明確化等を含めたマニュアルの見直しに取り組むことを期待したい。

④ 第三者評価に対する事業者のコメント

第三者評価をとおして、自分達のサービス状況を再確認し、これからのサービスの質の向上につなげていきたいと思ひ受審しました。

障がいのある人への支援はともすればマンネリになりがちですが、職員の意欲的な取り組み、並びに障がいのある人への支援は、施設の中だけで行うのではなく、地域の中で地域と共に行うと考えて実施してきたことを高く評価していただいたことは、いままでの取り組みが、間違いなかったことが認められ、職員の自信につながりました。

一方、指摘された改善すべき点については、改めて計画と記録の大切さと施設の業務手順（マニュアル）に添って支援すること、マニュアルは定期的な見直しを組織として行うことを再認識させられました。

これからは、何事もPDCAサイクルの考え方を浸透させて改善を行い、より良いサービスを提供していきたい。

⑤ 評価結果

別紙のとおり